

## 2025年6月のブルーベリー農園その2

梅雨に入った。当然雨の日、曇り空の日がくるくる交代しながら季節をすすめる。ブルーベリーも早生の品種の収穫が始まる。安芸区矢野東にある安芸の郷の第2森の工

房 AMA の屋上の早生のブルーベリーは5月末から収穫が始まり cafe さくらでの販売(100gパック)も始まっているが、標高約400mの東広島市豊栄町のブルーベリー農園では2週間くらい遅れる。農園での作業はブルーベリーの剪定が4分の3すんだがこの時期に入り草刈り、防鳥ネット掛けなどの作業が入り込むのでちょっと中断となっている。

6月7日(土) 里山の早生のブルーベリーを見に行くと青みを帯びた実が一つだけあった



作業の様子 6月8日(日) 久しぶりの野焼き

6月8日(日) 次の日に同じ場所に行くと3本の木で実っていたので今夏最初のブルーベリーの摘み取りして初物を味わった



6月7日(土) 里山の早生のブルーベリーを栽培しているエリアの草刈りを数日に分けて行っているがこの日に終了



6月12日(木)には2種類4本のブルーベリーの木が青く色づいたので今夏2回目の摘み取りをして、花壇にあったグミの実も少し収穫して籠に入れる



《2025年6月15日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》

今度は家の前の3段あるブルーベリー畑の草刈りを始める。この場所は緑肥を育てているので草の背が高いためチップソーの刃では草がからまるので、草刈り機の刃を3枚刃に交換して作業を始める。やや頻繁にやすりで研いでまた使う



一番上のブルーベリー畑から草刈りを始めた。去年6月に根元から全部バッサリ切ったブルーベリーの木のある場所の草を刈ると株元から新しいシュートが出てきていた



刈らないといけない雑草の中で元気なのは白い花を咲かすクローバー



ブルーベリー農園の季節の花

① アザミ（草刈りの時残しておいた。葉がズボンに触れると葉のとげがチクリと刺す）



① 里山の端っこにあるハコネウツギ



② 花壇のハナショウブ。アイリス系のジャーマンアイリスもアヤメもおしまい。これからはハナショウブが主役



2025年6月15日

社会福祉法人安芸の郷 理事長 遊川和良